

平成 31 年度 東京学芸大学附属国際中等教育学校 入学選抜検査 (B 方式)
 における問題の誤りについて

東京学芸大学附属国際中等教育学校
 校長 荻野 勉

平成 31 (2019) 年 2 月 3 日に実施しました、東京学芸大学附属国際中等教育学校 入学選抜検査 (B 方式) において、適性検査 I の検査問題に誤りがありましたのでお知らせいたします。受検生のみなさまをはじめ関係のみなさまに多大なるご迷惑をおかけいたしましたことを心よりお詫び申し上げます。


概要及び採点上の対応等については、下記のとおりです。

記

1. 概要

受検者 (B 方式) に課せられる適性検査 I (午前 9 時 45 分から午前 10 時 30 分まで) の問題文 (問題設定を説明する文章) に誤りがあり、数学的定義とは異なる問題設定があった。受検生が解答する際に混乱を生じさせる事態となった。

該当箇所 : 適性検査 I の ② [問題 1] 問 4

下図中の [図 2] 中の ② カードの場合の説明のところ、 で囲んだ「 $2 \div 1 = 1$ 」が数学的に誤った表現となっていた。

② 以下の広樹さんとエミリさんの会話を読み、あとの問いに答えなさい。

広 樹：エミリさん、新しいカードゲームを考えたよ。
 エミリ：どんなゲームなの。
 広 樹：二人で遊ぶカードゲームなんだ。① と書かれたカードと、② と書かれたカードを 6 枚ずつ用意すればできるよ。ルールを書いてみたのだけれど、どうかな。
 エミリ：面白そう。私も広樹さんの考えたルールをもとに新しいルールを考えてみようかな。
 広 樹：じゃあ、僕のルールとエミリさんのルール両方をクラスのみなさんに試してもらって、どちらがより面白いか聞いてみようか。
 エミリ：いい考えね。結果を表やグラフを使って整理したら、さらにわかりやすいと思うよ。

【表 2】 広樹さんの考えたルール

(1)	① のカードと ② のカードを各プレイヤーに 3 枚ずつ、合計 6 枚配る。
(2)	プレイヤーはかけ声に合わせて自分の持つカードの中から 1 枚以上 3 枚以内のカードを表向きに同タイミングで出し、出したカードの合計値の高い方が勝ちとする。合計値が等しい場合は、引き分けとする。これを 1 ラウンドとする。
(3)	(2) を 3 ラウンド行う。一度出したカードはもう使えない。
(4)	配られたカードは 3 ラウンド目ですべて使い切らなければならない。
(5)	3 ラウンドのうち、2 勝以上したプレイヤーがゲーム勝者とする。1 勝 1 敗 1 分けの場合は、勝負がつかないとする。

	Aさんのカード					Bさんのカード					各ラウンドの勝敗		
最初に配るカード	1	1	1	2	2	2	1	1	1	2	2	2	
1ラウンド目の例	2						1	2					Bさんの勝ち
2ラウンド目の例	1	1					2						引き分け
3ラウンド目の例	1	2	2				1	1	2				Aさんの勝ち

↓

ゲームの勝敗

Aさん：1勝1敗1引き分け Bさん：1勝1敗1引き分け ⇒結果：勝ち負けなし (勝負がつかない)







【図 1】 AさんとBさんが試しにゲームを行ったときの例



【問題 1】













会話文と【表 2】を参考に、以下の問いに答えなさい。



問4 エミリさんは、「広樹さんの考えたルール」に、以下の新たなルールを加えることにしました。「広樹さんの考えたルール」に、この新たなルールを加えたものを「エミリさんの考えたルール」とします。

【表3】新たなルール

- (1)  のカード2枚,  のカード2枚を用意する。これらのカードをラッキーカードと呼ぶ。
- (2) カードを分けるとき、裏返しにしたラッキーカード4枚の中から両プレイヤーが1枚だけ取る。
- (3) ラッキーカードは3ラウンド中1回だけ、数字のカードと同時に出示しなければならぬ。  は、どちらも相手の出したカードのうち一番大きな数から次に大きな数をひく、わることができ、その結果と残りのカードの合計がラウンドの合計値となる。
- (4) 相手が1枚しかカードを出していない場合は、  を出しても効果が無効となる。ラッキーカードは各ラウンドで自分の出すカードの枚数に含まれないものとする。

以下は、  を出した時に、相手のカードの合計値がどのようになるかを示した例です。

 カードの場合	  	$\rightarrow 2 \div 2 + 1 = 2$	 	$\rightarrow 2 \div 1 = 1$
 カードの場合	  	$\rightarrow 2 - 2 + 1 = 1$	 	$\rightarrow 2 - 1 = 1$

【図2】  を出した時に、相手のカードの合計値がどのようになるかを示した例

① エミリさんの保護者に聞いたところ、「エミリさんの考えたルール」の方が「ゲームが面白くなった」と感じたようです。なぜだと思いますか。ルールの変更により、ゲームの勝敗について起こった変化についてのあなたの考えを解答欄にあわせて説明しなさい。







② 「エミリさんの考えたルール」でゲームをします。1ラウンド目に広樹さんは  を1枚だけ出し、エミリさんは  と  カードを出しました。広樹さんの手元に  のカードが残っている場合、広樹さんが勝者となるために、広樹さんは2ラウンド目と3ラウンド目にどのようにカードを出すべきでしょうか。最適な組み合わせを答えなさい。

図 【適性検査 I】  【問題1】問4 【問題1】の問1～問3は除く】

2. 採点上の対応

 【問題1】問4 について、受検者全員に一律満点の7点を与える。

3. 対象受検生

B方式受検者 149名

以上

問い合わせ先

東京学芸大学附属国際中等教育学校
 TEL03-5905-1326 FAX03-5905-0317
 E-mail: office@tguiss.jp